



大石小Times

3学期が始まりました

8日(水)、第3学期の始業式を行いました。寒い中でしたが、全校児童が体育館に集まって式に参加しました。「一年の計は元旦にあり」と言いますので、新しい年を迎えてそれぞれが目標をもって頑張ろうという話をしました。大きな怪我や病気もなく、また昨年のような心痛む大きな災害もなく、穏やかな新年を迎えられたことを子どもたちといっしょに喜びました。スピーチタイムには、「今年の目標」や「3学期頑張りたいこと」を学級の代表の子が発表しました。とてもすがすがしい気持ちになるような、いいスピーチばかりでした。きっと聞いていた子どもたちも自分の目標を心に秘めて、これから頑張っていくことができると思います。私たち職員もしっかりサポートしていきたいと思えます。ご家族のみなさんや地域のみなさんには大変お世話になりますが、今年もよろしくお願い申し上げます。



大石っ子たち、がんばっています！

2学期、紙面の都合でご紹介できませんでしたが、学校内外で子どもたちがすばらしい頑張りを見せてくれました。

12月に行われた「坂井地区ディスクドッジ大会」では、大石っ子が躍動し、6年生と4年生の混成チーム「心を燃やせ 大石 F&G」が見事準優勝に輝きました。PTA 育成委員さんをはじめ、おうちの方の熱いご指導を受け、熱心に練習してきた成果が見事発揮されました。昨年のリベンジは果たせませんでしたが、素晴らしい活躍でした。5年生チームや低学年代表チームも大健闘。来年に大いに期待のもてる内容でした。また、6年生高橋さんの選手宣誓が立派だったと外部の方からもお褒めの言葉をいただきました。とても誇らしいことです。

12月中旬に行われた「子ども会壁新聞コンクール」では下小森子ども会6年生3人で制作した新聞が、見事、市で佳作、県で努力賞に選ばれました。春江町は参加する子ども会が年々減っているようですが、子ども会の行事や地区の特徴、地区の自慢などを上手に紹介し、地域を愛する気持ちが伝わってくるような新聞に

仕上がっていました。

4年生の長谷川さんは、ピアノ学習に熱心に取り組み、ピティナ・ピアノステップ継続表彰を受けました。ピアノを通して技術と豊かな心を身につけてほしいと思います。



支援員さんの日誌から

昨日、下校時間に6年生の多田さんの班と校門近くで会い、私の車に気がついて班の子にストップをかけたので、「行きなさい。」と合図をしたところ、多田さんがみんなを誘導し、最後に私の方を向いて頭を下げて行きました。感動しました。本人にも嬉しかったと今日伝えました。